

【実施区域・面積】

京都市、142.9ha

【生態系タイプ】

里山林、草地、湿地

【実施区域の状況】

京都市立都市公園として「自然との共生」、「手づくり」、「自然環境の体験フィールド」等をテーマに、セミナーハウス等の拠点施設の整備を行い運営。広大な公園敷地を活用し、一般の来園者とともに希少な野生生物の自然観察会を行うなど生物多様性に係る環境学習や普及啓発に努めている。また、当公園が立地する波見谷エリアは、川沿いの農地、湿地、周辺山林を中心としたモザイク状の土地利用が維持され、里地里山に特徴的かつ希少な種の生息が確認されていることで、環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されている。

【目標】

サイト内の貴重な動植物が生息する豊かな自然環境を保全するとともに、自然環境の体験フィールドとして幅広い人々が利用し、楽しめる公園を目指す。また、地域における人と自然の共生する暮らしや関わり方を次世代に伝えるとともに、自然体験活動等を通じて、自然環境保全や生物多様性の重要性を学ぶ場を提供する。

【主な活動内容】

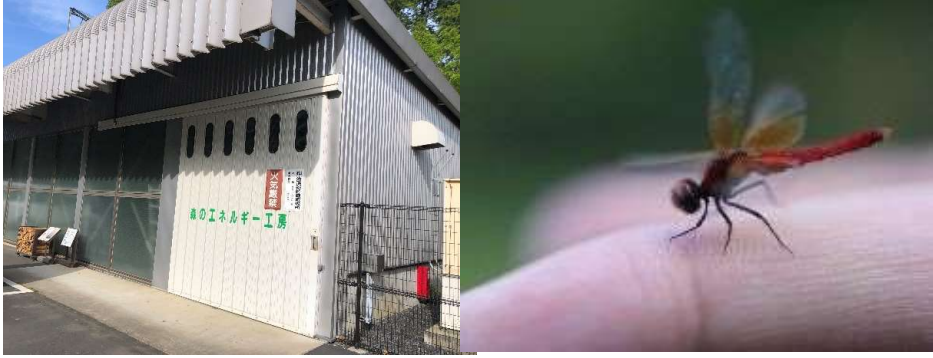
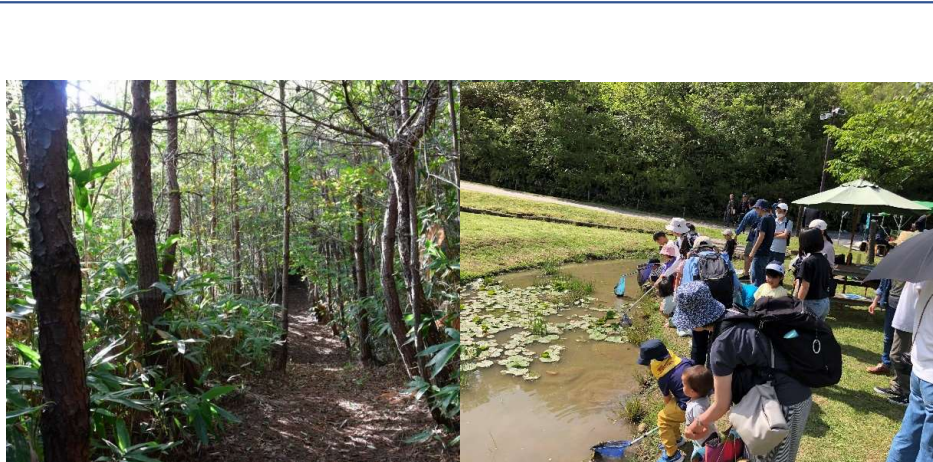
- ・山林では定期的な除伐整備を行い、発生した木材はバイオマスボイラーの熱源に利用。また、森林整備を子どもたちの自然体験学習に位置づけで実施する。
- ・草地については、貴重な野生生物に配慮しながら定期的に人力で草刈りを行う。
- ・湿地では、定期的な草刈りや草抜き、水路整備、一定の水位の確保のための泥上げ、水位調整、外来の水生植物の駆除などの管理を行う。

【モニタリング計画】

植物については、モニタリング1000の調査及びガイドウォークや施設巡回に合わせて生息調査を実施。また、主たる希少種であるハッチョウトンボの調査については、地元の保全団体と連携し調査する。その他の昆虫類・両生類については、園内で開催する観察イベントに合わせる形などで調査を実施する。

【実施体制】

京都市立の都市公園として指定管理者制度により運営。NPO法人地球デザインスクールは、開園当時から指定管理者として当公園の管理運営を行っている。当公園は環境教育の拠点施設として京都市自然環境保全課が所管しており、自然環境保全課の関係団体とも連携してイベント等を実施していく。



【計画期間】

2025年9月～2030年3月